



教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会
牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77
Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925
Eメール: gpnng725@gmail.com
URL: <https://yachiyokyoikai.org>
郵便振替: 00190-4-554373

今年のみ言葉 ローマ人への手紙 8章 34節

「だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていただくのです。」

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。
日曜日・午前10時30分・礼拝
水曜日・午後1時30分・祈禱会

「愛着障害」

牧師 小林 政和

私は幼いころから、「愛着障害」の子でした。愛着障害とは何かが足りないと思う心です。母親の愛を十分受けていながらも、十分受けていないと感じる甘えん坊だったのかもしれませんが。自分の母親だけを慕い追い求めました。おじいちゃんのお葬式に母親は赤子を連れて行くのは寒かろうと思って、ほかの女性に預けて行ってしまいました。私は恐怖心で泣きました。母親が帰ってくるまで、4時間ほど泣きじゃくりました。ほかの女性に優しく抱かれても、お菓子をもらっても、安心できなかったのです。幼児の頃、いたずらをして、暗い夜に締め出されて、恐怖心を感じて以来、部屋の外に出され、障子をぴしゃんと閉められると、今でも恐ろしくなります。小さいころの苦い体験が、今も尾を引いているのです。



私が成人して、イエスキリストに出会い、献身を決心しました。それまで御坊バプテストキリスト教会で親しく交わりをしていた者が、上京して聖書を学ぶというので、ほかの教会員(特に高齢者の婦人)は「行かないで、田舎の教会は人数が少ないから、若い人が残ってこの教会を栄えさせてほしい」と惜しまれる気持ちを言われましたが、それを振り切って、練馬バプテスト教会に行き、昼間働いて、夜神学校へ行く計画でした。「御坊教会の皆様、ごめんなさい。御坊教会の御恩は決して忘れません」と心が割かれる思いで上京しましたが、練馬教会で多くの新しい信仰の友ができ、そうしたことはすぐ忘れてしまいました。時を経て、私が牧師になりました。東京地区連合牧師会に属するようになりました。そこで今まで長年ある教会の牧師をやられた先生方が辞めていく現実に出会います。「どうして、辞められるの。寂しいです」と別れを惜しむ気持ちを強く感じました。今まで連合を引っ張ってきた先生がお辞めになる。「なぜ、どうして連合に引き留めることができなかったの。今まで連合の諸集会で講演なさってきたことが何だったの。連合を背負う人ではなかったの」と思います。去る人を思いやる心は「愛着障害」から生じるのでしょうか。「なぜ、人が来て、去っていくのでしょうか」。連合で、福音伝道のためにスクラム組んでいた仲間が去っていくのは寂しいのです。

7月8日(水)祈禱会

毎週水曜日の祈禱会は、聖歌を歌い、聖書の勉強会と祈りが中心になります。小林



先生を通し、聖書の深みに入るのは難しいですが、一步一步真理に近つける学びが喜びです。(下橋)

教会の花壇

去年10月、龍ヶ崎市の野崎姉宅のミルトスの鉢植えを移植しました。一時枯れかかって心配しましたが、無事根が付き、50cmほどに育ちました。7月になり、小さな白い花が咲きました。わが「教会だより・ミルトス」を励ましてくれています。(7月1日撮影)下橋



7月12日(日)日曜礼拝・小林牧師は玉川キリスト教会へ

この日の礼拝は、小林牧師に代わり、小林義宣兄により、執り行われました。賛美・交読・祈り・紙芝居・メッセージ・頌栄と滞りなく進みました。

義宣兄のメッセージでは、プロジェクター映像を使って分かりやすく、中身の濃い物になっていて、感動しました。(下橋)



小林牧師は玉川キリスト教会へ

東急田園都市線の「二子玉川駅」前の繁華街の建物の地下に、教会がありました。聖学院の高校生も参加していました。この教会の進んでいることは、礼拝のすべてがペーパーレスに徹していることです。プログラムの順にスクリーンに聖書の言葉、交読文、主の祈り、賛美する歌詞等が映し出され、週報は紙ではなく、参加者がみな、スマホを持っていて、報告等は自分のスマホの画面を見ながら聞いていました。信者さん(少ない高齢者)も困惑することなく、みな新しいシステムに慣れているようでした。(小林)



メンバー紹介 「東京都葛飾区に引っ越しました」

岩崎和郎・喜久子

ところで、今回は突然ですが、転居のお知らせです。転居先は、東京都葛飾区の水元公園のそばです。現在、住民票の異動、廃車等の手続きでてんでこ舞い(どんな踊りか、踊ったことはありませんが)の生活です。八十路に入ろうという爺さん(要介護1)と婆さん(重度障害者1級)が、この年で転居。それも田舎から大都会へ。おまけに3LDK から2LDK への縮小という、オール逆バージョン。正気の沙汰ではないと思われるでしょうね。引っ越しを機にかなりの量を捨ててきたのですが、これからは整理ではなく、新たな捨て方との戦いです。部屋の狭さに関してだけは、新婚生活に戻ったようです。



印西市は気に入っていたのですが、私のバイクが壊れ、家内の車の運転が怪しくなると、市バスだけでは暮らしていくにはしんどいねと言うことで、引っ越しを決めました。家内もおかげ様で手術後、少しずつ回復しているようで、今回は引っ越しも、だいぶ動けました。すぐ近くに東京理科大学があります。そこは図書館も学生食堂も開放しています。メニューも豊富で、量もかなりあります。「ここが終焉の地になるのかなあ」などと、ぼんやり考えたりしています。これまでのご厚情に感謝するとともに、これからもご交誼のほどお願いします。皆様、ご健康に留意して御身を大切にお過ごしください。

教会及び連合のスケジュール(予定)

- 06月02日(火) 野崎宅家庭集会
- 07月12日(日) 牧師は玉川キリスト教会の礼拝に参加
八千代キリスト教会は小林義宣兄が礼拝の責任を持つ
- 07月13日(月) 東京地区教会の牧師会、夕方東京地区連合委員会
- 07月16日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
- 07月31日(金) 「ヤコブの梯子」原稿締め切り
- 08月02日(日) 運営委員会
- 09月06日(日) 運営委員会
- 09月20日(日) 創立30周年記念礼拝
- 11月2日(月)～3日(火) パプテスト教会連合予算総会(掛川)
- 11月29日(日) 待降節(アドヴェント) 12月24日まで

祈って下さい

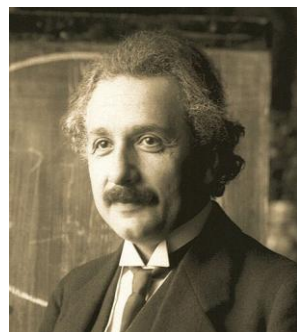
- 1) 上福岡教会において、よい時に良い牧師が与えられますよう
- 2) 三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに平和が回復するように
- 4) アメリカ・イスラエルとイランの間での戦争が終結し、ホルムズ海峡で安全運航ができますように
- 5) 横田めぐみさんをはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 6) 30周年記念誌「ヤコブの梯子」の完成のために
- 7) 特養ホームにいらっしゃる「八木明子姉」の信仰のために
- 8) 成田のグループホームにいる安藤真大兄の歩行機能の、リハビリができますように

3分間講座 「なぜユダヤ人は多くの民族から嫌われてきたのか(下)」

反ユダヤ人の感情は、紀元70年にローマ軍がエルサレムを攻撃し、市街地やエルサレム神殿を破壊、追われたユダヤ人がキリスト教圏の各地にまで分散、いまに至るまで根深く続いているものです。その理由とされる主なものは、多少的外れと思われるものがあるにせよ、① ユダヤ人はイエス・キリストを亡き者にした犯人である、② ユダヤ人は自分が選民だと思い傲慢である、③ ユダヤ人は他の民族や文化と同化しない、④ ユダヤ人は劣悪な人種である、⑤ ユダヤ人は富を持ち過ぎている、などでしょうか。

世界の民族はそれぞれ独自の神、独自の信仰を持っています。ユダヤ教は唯一神を奉じ、他の神を排斥する保守的な民族宗教です。キリスト教も唯一神を奉じ、ルーツは同じでも信仰のあり方で袂を分かち、いまでは世界最大の宗教集団です。ユダヤ教の指導者らは、自分たちの存在を脅かすイエスを十字架にかけました。キリスト教徒には敵対者です。またユダヤ人の選民意識が、自分の身分を誇る独善的な姿勢なら、他民族の文化を評価できません。第一次世界大戦直後あたりからユダヤ人解放の気運に逆らって、宗教的観点ではなく、ユダヤ人は劣悪な人種だとする考えが欧州を中心に広がり、ユダヤ人は市民権を奪われたり、職業選択の自由もせばめられ、卑しい職業とされた金融や経済分野で働いたのです。そこで一部のユダヤ人は、商売で成功して巨万の利を得、同時に知識階級も育ってきます。ユダヤ人蔑視の風潮を利用したのはナチス・ドイツで、尊い血統のアーリア人(主にドイツ民族)の血を汚すものとして、ユダヤ人を抹殺しようとしていました(ホロコースト)。

第二次世界大戦が終わり1947年、人道主義の立場から国連はパレスチナの地をユダヤ人とアラブ人へと二分し、翌年イスラエルが建国されました。これまで住んでいた地を追われるアラブ人はこれに猛反対し、近隣諸国も同調します。これが今日まで領土と宗教観がからみ、戦火の絶えない中東戦争の火種となっています。(池田)



世界的に知られるユダヤ人
科学者 A.アインシュタイン

編集後記: 八千代キリスト教会は9月に創立30周年を迎えます。前回25周年記念誌に続き、30周年記念誌を計画・編集集中です。外部の方々からも寄稿文を頂いております。ありがとうございます。7・8・9月はこの「教会だより」と編集が重なり、忙しい時期となります。今年も、猛暑の夏となりそうです。それぞれに暑さ対策をしっかりし、健康管理に注意して、無事乗り切りましょう。(下橋)